

# 住まい

## 市内に住み続ける意向がある人は8割超

現在の住まいに住み続ける意向のある人は、2025(令和7)年度市民目線のニーズ探究調査で84・9%※でした。

※「あなたは、これからも横浜市に住み続けたいと思いますか。」という問いに、「とても思う」「思う」「どちらかといえば思う」と答えた方の割合

## 持ち家率は約6割、うちマンションが約4割

一戸建てに住んでいる世帯は37・0%で、61・8%はマンションやアパートなどの共同住宅に住んでいます。区別に見ると、共同住宅に住んでいる世帯は西区が77・1%で最も高く、次いで中区の76・2%で、11階建て以上の住宅に住む世帯は、中区が25・6%、西区は24・5%となっています。一方、泉区(57・2%)、瀬谷区(53・5%)では、一戸建てに住んでいる世帯の割合が半数を超えています。

持ち家に住んでいる世帯の割合は約58%で、他都市と比べるとやや高くなっています。そのうち分譲マンションなど共同住宅に住む世帯は約4割、持ち家以外を含めた世帯全体の約23%を占めており、他都市よりも割合は高くなっています(図1)。

## 住宅の約1割が空き家

横浜市の住宅数は約194万戸で、そのうち賃貸や分譲のための住宅を含めた空き家は約9%の約16万9千戸となっております。その割合は1998(平成10)年以降1割前後で推移しています(図2)。

新たな住宅の着工数は、1980年代初頭には年間3万5

千戸程度でしたが、80年代後半から貸家の着工数が増加したこともあり、1987(昭和62)年には6万戸を超えました。その後は減少傾向にあり、2009(平成21)年以降は、ほとんどの年で3万戸を下回っています(図3)。

図1 都市別の持ち家率  
令和2年国勢調査(総務省)

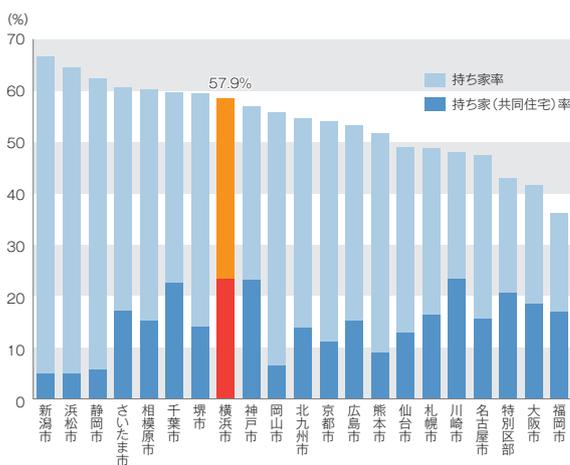


図3 所有関係別着工新設住宅戸数  
建築着工統計調査(国土交通省)

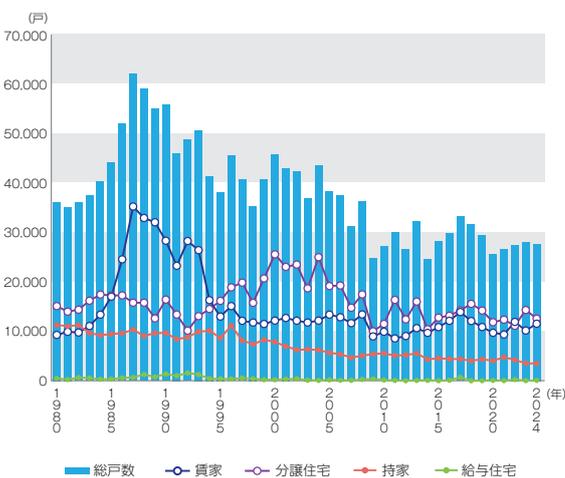


図2 世帯数と空き家数の変化  
横浜市統計書、横浜市政策経営局

